

私たちは、患者さんの人権を尊重し、
地域に必要な基幹的中心的な医療を
担当すると共に、さらに高次の医療に
対応できるよう努力します。

2014 Spring Vol.037

編集：広報委員会・広報課

印刷：有限会社 アクト

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17

TEL.075-391-5811(代)

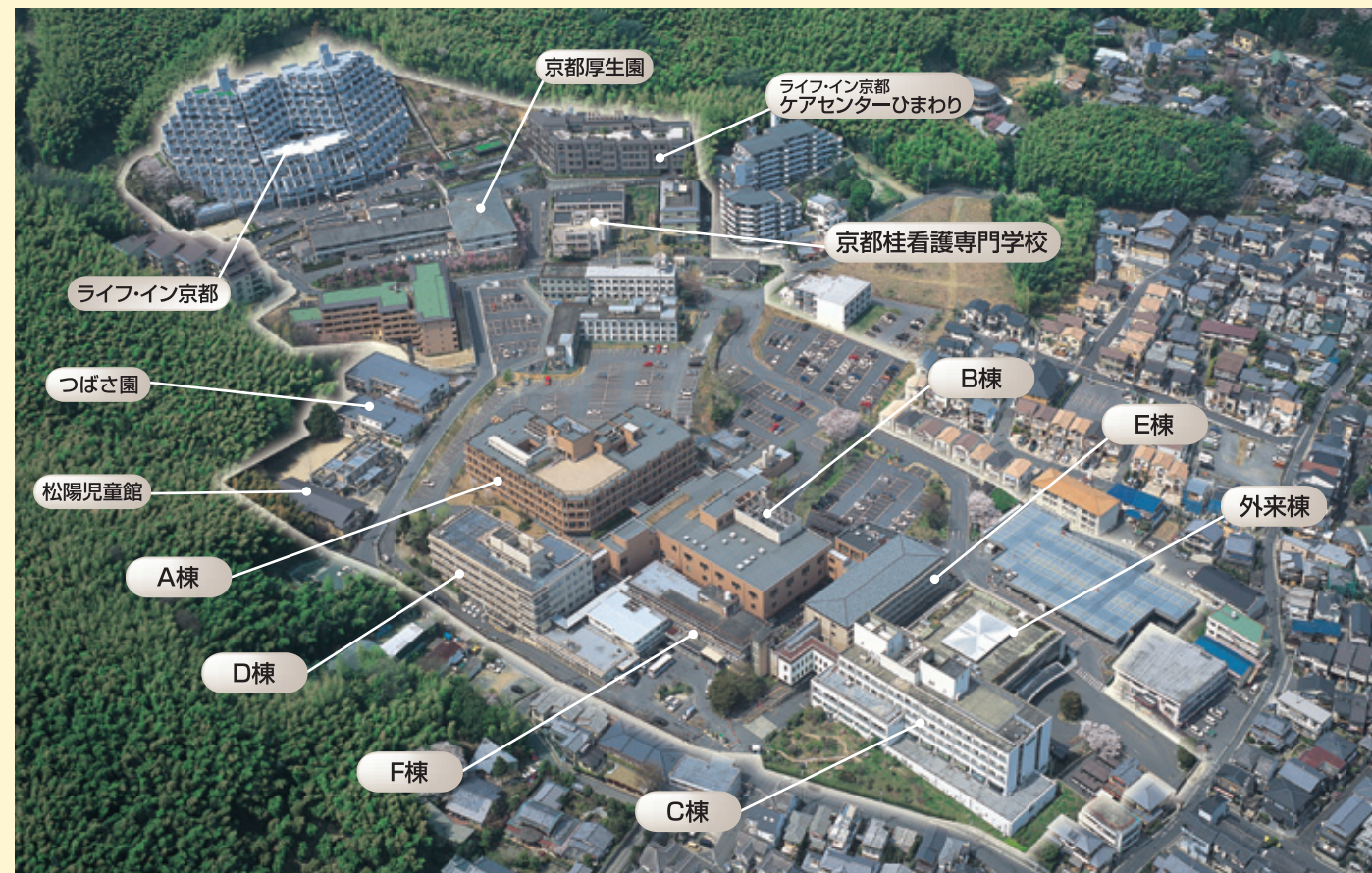
http://www.katsura.com

京北町（撮影 桐山豊三郎）



Index

ホスピタルインフォメーション.....	2
平成26年度を迎えて	
専門医がお答えします－第33回 加齢に伴う目の病氣.....	3
網膜静脈閉塞症について	
がん患者サロン「きすな」5周年記念講演会.....	4
ナースの広場.....	6
がん看護専門看護師とは	
連携医ネットワーク.....	6
当院の医師・職員紹介.....	7



許可病床数

●585床（一般525床：結核60床）

診療科目

●一般内科 ●血液内科 ●脳神経内科 ●内分泌・糖尿病内科
●腎臓内科 ●膠原病・リウマチ科
●心臓血管センター（心臓血管内科・心臓血管外科）
●消化器センター（消化器内科・外科） ●乳腺科
●呼吸器センター（呼吸器内科・呼吸器外科）
●整形外科 ●形成外科 ●泌尿器科 ●産婦人科 ●眼科
●耳鼻咽喉科 ●脳神経外科 ●皮膚科 ●小児科
●緩和ケア科 ●精神科 ●リハビリテーション科
●ペインクリニック科 ●放射線科 ●麻酔科
●透析センター ●健康管理センター

●京都桂臨床医学研究所（臨床試験センター） ●保育所

併設施設

●京都桂看護専門学校（全日制3年課程）
●訪問看護ステーション「桂」

関連施設

●西陣病院	●にしがも透析クリニック	●にしがも舟山庵
●京都厚生園	●京都桂川園	●昭和保育園
●北野保育園	●二条保育園	●ライフ・イン京都
●つばさ園	●松陽児童館	



交通のご案内

市バス ▶ 73系統（京都駅～洛西バスターミナル）
29系統（四条烏丸～洛西バスターミナル）
69系統（二条駅西口～阪急桂駅東口） 「千代原口」下車、徒歩約10分

京阪京都交通バス ▶ 21、27系統（京都駅～桂坂中央）「千代原口」下車、徒歩約10分

阪急電車 ▶ 京都線「桂駅」下車（西口）西へ約1.7km

病院専用送迎バス ▶ 阪急桂駅からは送迎バスを無料でご利用いただけます。（約15分）

阪急桂駅西口の送迎バスのりばは、上記地図を参照してください。



社会福祉法人 京都社会事業財団

京都桂病院

http://www.katsura.com

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地 TEL 075-391-5811(代)

平成26年度を迎えて



院長 野口 雅滋

2025年に団塊の世代の人が全員75歳以上になります。少子も相まって、世界に例を見ない少子高齢化社会になります。その時医療・介護・福祉をどのように安定的に提供するのが広く議論されています。人類は古来、不老長寿を夢見てきました。不老とは言いませんが、医学や社会の進歩により長寿を何とか手にいれることができました。しかし長寿社会を達成してみると、長寿は社会の重荷のような扱いです。長寿を達成して良かったと、高齢者が長生きを喜べるような社会にしなければなりません。そのために医療は何が出来るのかを考えるため、平成26年度の行動方針は「**超高齢社会への対応**」になりました。

高齢になると、それに伴って衰えて行く機能があります。目や耳の「感覚器」、足腰の「運動器」、認知の「脳機能」。これらのことに関して京都桂病院では、従来それぞれ、眼科・耳鼻科・整形外科・リハビリ・精神科・神経内科などで適切に対応してきています。また高齢になるとかかりやす

い疾患もあります。「がん」についてはできるだけ負担の少ない手技での治療を目指しています。昨年、負担の少ない放射線治療装置も導入しました。「心臓病」については、若年者から高齢者まで、分け隔てなく救急で対応しています。しかし、「脳卒中」についてはまだ充分な対応がとれ

ていません。そこで今年度従来の神経内科を「脳神経内科」と名前を変え、従来の神経疾患だけでなく、脳卒中に對しても積極的に適切な対応がとれるようにします。発症直後の観察室を準備し、発症早期からのリハビリテーションも行えるようにします。

高齢者に対する医療では、予防が重要になってきます。特に糖尿病に合併して起って来る疾患に対する予防が大切です。まず糖尿病にならないための予防・管理には、3人居る糖尿病専門医や管理栄養士が対応します。糖尿病で腎臓が悪くなり、透析を受けておられる方が沢山おられます。透析が必要にならないように腎臓内科で予防します。糖尿病があると足の動脈の流れも悪くなります。早期に診

断し、血流をもとに戻す治療も行います。認知症の早期診断・早期治療も大切です。近隣の診療所の先生からの「ものわすれ相談」を精神科で受け付けています。まず、かかりつけの先生に相談してください。生活習慣病や脳卒中の予防や早期発見のためドックも充実していきます。

今年度も一年間、宜しく願っています。



ホスピタルインフォメーション

専門医が答えします
第33回

加齢に伴う目の病気



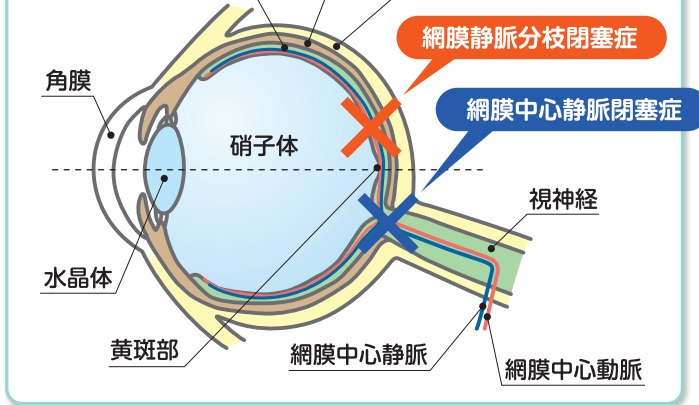
眼科 部長 松井 淑江

網膜静脈閉塞症について

網膜静脈閉塞症は、網膜の静脈に血栓がつまり発症します。高血圧症や動脈硬化症、糖尿病などの生活習慣病が発症に関与することが多く、中高年に多く見られる病気です。網膜中心静脈がつまった場合を網膜中心静脈閉塞症、網膜中心静脈の分岐でつまった場合を網膜静脈分岐閉塞症と呼びます。網膜循環障害（網膜虚血）、網膜出血（一般的には眼底出血と呼ばれます）、網膜浮腫などをきたし、視覚障害の原因になります。さらに悪化すると、網膜新生血管という悪い血管を生じて、硝子体出血（眼内の出血）、網膜剥離、新生血管緑内障といった失

明につながる重篤な状態へ移行していくことがあります。治療としては、網膜出血に関しては、内服加療でゆっくり出血が吸収されるのを待ちます。網膜循環障害が強い場合（虚血が強い場合）は、新生血管の出現を予防するために網膜レーザー光凝固術が必要です。硝子体出血や網膜剥離に対しては硝子体手術が必要になります。

網膜浮腫、特に網膜の中心部である黄斑部の浮腫がみられる場合は視力低下の原因になりますが、これに対してはいくつかの治療法があります。網膜レーザー光凝固術、ステロイド薬のテノン囊下注入（眼外の組織内



膜浮腫を減少させる効果はとて強いのですが、効果の持続期間は1ヶ月位しかないので、複数回の注射が必要になることが多いです。また、ごくまれではありますが、眼内炎や脳卒中などの重篤な副作用もありますので、注意が必要です。

以上、網膜静脈閉塞症に関して要点をご説明いたしました。最も大切な点は、原因となる生活習慣病の予防に日頃から気をつけることと言えるでしょう。

がん患者サロン「きずな」

5周年 記念講演会

がん相談支援センター 入江 篤志

京都桂病院 がん患者サロン「きずな」5周年記念講演会を2014年4月5日（土）13:30～外来フロアで開催いたしました。当日は約50名の方にお越しいただき講演と落語を楽しんでいただきました。

講演は兵庫医科大学 社会福祉学 准教授 大松重宏 先生に、「がん医療におけるピア・サポート」と題してご講演して頂きました。



兵庫医科大学
社会福祉学 准教授
大松重宏 先生

まずピア・サポートとは「同じような立場の人によるサポート」であり、がんサロンでは「同じような課題に直面するがん患者さんやそのご家族がお互いに支えあう事」。

最初のがんサロンは2005年に島根県に病院に属さない地域のがんサロンが開設、翌年に松江赤十字病院に院内がん患者サロンが設置され、県内に地域、院内合わせて22か所開設されました。その後のがん対策基本法

のがん対策基本計画に「心の悩みや体験を語り合うような場を自主的に提供している活動を促進すること」記載され、がん拠点病院に全国的に広がっていき、がんサロンは病院内活動する場合と、地域で病院越えての活動の2種類があります。活動内容は おしゃべり会や相談、勉強会、会報（ホームページやメール）、食事会・旅行、他のサロンとの交流などがあります。



ピア・サポートの基本

- 一番のサポートはがん体験者が自分なりに社会の中で生きているという姿
- その姿が自分のモデルとなり勇気もらえる（技術ではない部分が大きい）
- がんサロンを立ち上げ、企画、運営のお手伝いをする姿も大きなピアサポートである。

がんサロンの効果は

- ① 孤独感の解消
がんの仲間と出会う、ほっとし、自分だけでないと感じるなど
- ② 具体的で実践的な情報交換
医師などから聞いたことを実践した話は安心感が持てる
- ③ 自尊心の回復
自分の経験がほかの方に役立つ事を気づくことができる。



桂 優々 さん

しかし人材不足、資金不足、活動のマンネリ化、新規会員の減少がこのサロンでも起こっている事が問題となっております。5年も続いている「きずな」ではがん相談員と看護師が居て、ピアサポートのお手伝いが行われており、勉強会や機関紙も作り、旅行にも出かけていると聞いています。

「『きずな』の方は自信をもってサロンでピアサポートを行って下さい」と励ましのお声かけを頂きました。

勉強の後は、お笑いで2年ぶ

り2回目の出演の桂 優々さんによる落語「ガマの油」でお楽しみいただきました。

がんサロン「きずな」の活動報告

当院のがん患者サロン「きずな」は5周年を迎えました。毎月第1・4火曜日、10時～15時まで開催しております。この時間内でしたら自由に出入りして頂けます。

毎回10名程の方がお越しいただき、お話や悩み等聞いて頂いております。参加者の要望で勉強会を緩和ケアチームの医師に来て頂き行っております。ほかの行事として、クリスマス会や企画編集する機関紙、旅行が好きな参加者さんの企画で鳥羽へ一泊旅行や、府立植物園にお花見にも出かけました。

お話を聞いてほしい、聴いてみたいと思われる方、当院で治療されていないがん患者さんやそのご家族の方も、ぜひお越しください。



場所は病院の正門入って左の一軒家です



がん患者サロン「きずな」の皆さん

がん看護専門看護師とは

(OCNS : Oncology Certified Nurse Specialist)

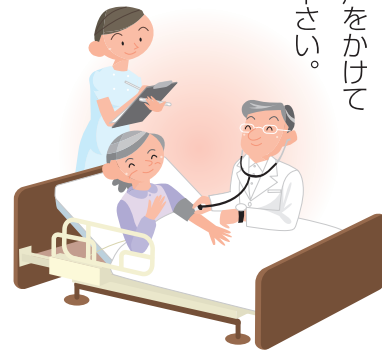
(OCNS : Oncology Certified Nurse Specialist)



がん看護専門看護師
緩和ケア認定看護師
看護部 副主任 森井 淳子

専門看護師は、日本看護協会の認定資格で11の分野があり、各専門分野において、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究活動という6つの役割を果たしています。

私は、がん看護専門看護師として、緩和ケアチームの専従で、患者さんやご家族に直接ケアを行ったり、スタッフからの相談に応じたり、チーム医療が効果的に実践できるように多職種と協働しています。がん医療では、インフォームドコンセント、治療とその副作用、症状の緩和、療養などに関連した様々な課題があります。そのような課題に直面しているがん患者さんへのケ



アは、身体面だけでなく、精神的なケアも必要となってきました。がんと診断を受けた時から、意思決定のサポートや精神的・身体的・社会的支援を行い、その人らしく安心して療養生活を送ることができるよう、少しでもお手伝いが出来たらと思っています。

「緩和ケアチーム」によるケアをご希望の方は、主治医や担当看護師に声をかけて下さい。



医師紹介

[illegible][illegible][illegible][illegible]

2014年4月1日現在

連携医療 ネットワーク 地域の皆様により良い医療を…

地域の皆様により良い医療を…

栗山内科クリニック

院長 栗山卓弥

日本循環器学会認定循環器専門医



この度いつも大変お世話になっております京
都杜精病院より季刊誌に掲載される連携医ネットワークに関する原稿依頼をい
ただき、大変ありがたく思っております。早速ですが当院は平成22年1月に
亀岡市篠町の地に新規開設となり、現在のところ4年余りが過ぎたところであ
ります。あっという間の月日であった様に感じられ、未だに皆様の力をお借り
し、御迷惑をおかけしながら日々の診療業務にあたっているところであります。

私は昭和60年に大学を卒業後、主として循環器内科を中心に内科全般の診察に携わって参りました。勤務医時代には心臓カテーテル検査及び治療にも携わらせていただきましたが、最近では他の領域への応用も幅広くなされており、京都桂病院は地域の中でも治療実績が豊富であり、大変頼りにさせていただいております。病院全体としても診療科、スタッフ共に充実されており、迅速な対応を施行いただき、大変感謝いたしております。

予防医学の必要性も声高に言われる様になり、各種疾患に対する取り組みが変化して来ている時代であるとも言えます。今後は今までにいただきました種々の貴重な経験を生かし、病診連携を通して、微力ながらも地域医療に貢献出来たら幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

「連携医」とは、日頃より患者さんを紹介していただくだけでなく、当院からの患者さんを受け入れて対応していただける医院・診療所の先生です。

医院・診療所 DATA

診療科目 内科、循環器内科
神経内科(火・木・土曜の午前のみ)



【所在地】京都府亀岡市篠町篠向谷
24-4

【電話】0771-29-6633

【休診日】毎週木、土午後、日祝祭日

【診療時間】

		月	火	水	木	金	土
午 前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午 後	17:00~19:30	○	○	○	—	○	—